



広報

# ふじおか

City-Fujioka-Gunma Public Relations

2019  
8.1  
No.1208



| プレミアム付商品券購入引換券申請 | 運転免許証自主返納を考える

## | まちの話題

- ・下久保ダムイベント
- ・希少生物観察会など

## | Information～お知らせ～

- ・日本語ボランティア養成講座
- ・土と火の里公園夏まつりなど

伝統つなぐ新田坂の駆け上がり ~鬼石夏祭り~

# 鬼石夏祭り

7月13日(土)・14日(日)に鬼石夏祭りが開催されました。5地区の山車は各町内で受け継がれてきた伝統のお囃子を奏で、祭りを盛り上げました。「新田坂の駆け上がり」では、威勢の良い掛け声と共に坂を駆け上がり、見物客を魅了しました。





## 運転免許証返納で受けられる さまざまな補助

### 運転経歴証明書の交付手数料の補助

運転免許証を自主的に返納した人に運転経歴証明書の交付に係る費用の補助を行っています。

**対象** 次の全ての条件を満たす人

- ▷ 平成31年4月1日以降に運転免許証の自主返納をした人
- ▷ 市内在住で自主返納時に本市の住民基本台帳に記録されている満65歳以上の人

**返納場所** 藤岡警察署交通課・県総合交通センター(前橋市元総社町)

**申請期限** 自主返納時から3ヵ月以内

**申請・問い合わせ** 地域安全課(☎④2245)

#### ---- 手続きの流れ ----

- 1.返納場所にて、運転免許証の全部返納申請をしてください
- 2.申請書兼請求書に必要事項を記入の上、運転免許の取消通知の写し・運転経歴証明書の写しを同封し、市役所地域安全課へ

### 公共交通利用券の補助

運転免許証を自主的に返納した人に公共交通利用券の補助を行っています。

#### ■バス1万円分の利用券もしくは、タクシー5,000円分の利用券の補助

※どちらかの利用券を1人1回に限り補助

**対象** 次の全ての条件を満たす人

- ▷ 平成31年4月1日以降に運転免許証の自主返納をした人

▷ 市内在住で自主返納時に本市の住民基本台帳に記録されている満65歳以上の人

**利用可能な路線** 市内循環線・藤岡～上平線・三ツ木～高山線・三波川線・奥多野線

**利用可能なタクシー** 上信ハイヤー・藤岡タクシー・ロングタクシー・鬼石タクシー・奥多野交通

**使用期限** 交付を受けた年度～翌年度の3月末日

**申請期限** 自主返納時から3ヵ月以内

**申請・問い合わせ** 地域安全課(☎④2245)

#### ■奥多野線の運賃半額

**対象** 管内在住で運転経歴証明書の交付を受けた人(年齢制限なし)

※管内とは、藤岡市・神流町・上野村・高崎市の一帯(新町)地域

**補助** 奥多野線の運賃半額

※他の割引制度との併用不可。回数や期限などはありません

**利用方法** 降車時に運転経歴証明書を提示

**問い合わせ** 多野藤岡広域町村圏振興整備組合(☎④1621)

回数を設けない割引制度は、  
県内初の試み！！



### 市内協力店で受けられるサービス

「運転経歴証明書」を提示すると、市内各協力店でサービスを受けることができます。

サポート協力店は市ホームページをご確認ください。

市ホームページ



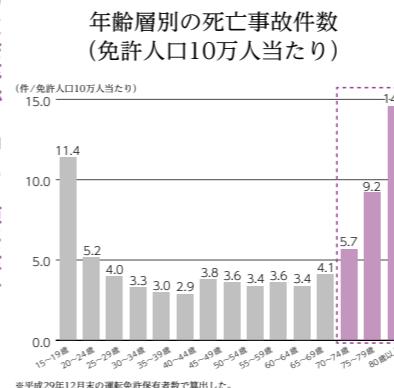
←協力店には左のよう  
な指定の協力店章が  
張ってあります



## 運転に不安を感じることはありますか？

～運転免許証の自主返納について考えてみましょう～

70歳以上の運転免許保有者は平成元年の約1,09万人から、平成30年には約1,130万人と30年間で約10倍となっています。また免許人口当たりの死亡事故件数では、75歳以上のドライバーは、75歳未満のドライバーと比較して死亡事故が多く発生しています。



加齢とともに体は変化します。これまで安全運転を続けてきた優良ドライバーだからといって、今後も安全運転を続けられるとは限りません。このような症状が出たときや「若い頃とちょっと違うな」「おかしいな」と感じたら、運転免許証自主返納制度をご利用ください。

**運転免許証自主返納制度とは**  
自主返納制度とは、「運転に不安を感じている」「もう運転はしない」という人が、自主的に運転免許証を返納できる制度です。申請によって、公的な身分証明書としても使える「運転経歴証明書」が交付されます。また、それを提示することできまざまな特典やサービスを受けることができます。

歩行者や障害物、他の車に注意が向かないことがあります。全国的には高齢ドライバーによる重大な交通事故も発生しており、社会問題となっています。悲しい事故を起こす前に、高齢ドライバーと家族の皆さんで運転免許証の返納について話し合ってみてはいかがでしょうか。

#### 増加する高齢ドライバー

カーブをスマーズに曲がれないことが増えたとが増えた信号や標識を無視して通行するこ車庫入れの時、塀や壁をこするところがある。左右折時に、歩行者や対向車などをよく見落とすようになったなど

歩行者や障害物、他の車に注意が向かないことがあります。全国的には高齢ドライバーによる重大な交通事故も発生しており、社会問題となっています。悲しい事故を起こす前に、高齢ドライバーと家族の皆さんで運転免許証の返納について話し合ってみてはいかがでしょうか。



ロコモティブ症候群の進行度を検査する参加者。

## 健 食生活と運動習慣の改善 康長寿の秘策を学ぶ 7/10

歩行困難など要介護になるリスクが高まるロコモティブ症候群の予防するため、ザスパクサツ健康づくり教室が市民ホールで開催されました。参加者はロコモティブ症候群を予防する食材を使ったレシピを学び、腕を組んだまま立ち上がる動きなどで症状の進行度を検査しました。



## 願 七夕の彦星と織姫に いを込めて 7/6

藤岡中央児童館で七夕まつりが開催されました。高崎健康福祉大学アカペラサークルにより、子どもたちにおなじみの歌が、豊かなハーモニーに乗って会場内に響き渡りました。また、たなばたさまをみんなで歌い、七夕にちなんだ参加型の劇もあり、楽しい時間を過ごしました。



真剣な様子で作業をする子どもたち。

## 科 光の不思議 学のおもしろさを体験 6/29

神流公民館でおもしろ科学教室が開催されました。教室では黒い壁(ブラックウォール)があるように見えるのに、その壁をボールがすり抜けてしまう「二段ブラック・ウォール」を作りました。参加した子どもたちは偏光板を使った光のマジックを興味深そうにしていました。



## 尊 一人一人の豊かな人生のため 重し合う社会を 6/24

男女共同参画週間にあわせて、推進協議会委員が市内のスーパーでパンフレットを配り、啓発活動を行いました。男女共同参画とは「性別によって行動や考え方が限定されることなく自分らしく生きられる社会」のことです、男性も女性も活躍できる社会の実現を呼び掛けました。



紙コップ3つで体を支える実験。

## 自 「なぜだろう、不思議だな」をテーマに 由研究のヒント 7/20

学習支援教室「理科・社会科自由研究のヒント」が教育庁舎で開催されました。参加した36人の小中学生は、4人の講師から身近な事柄の中から「なぜだろう、不思議だな」と感じたことや、理科の実験を通して「しらべてみたいな」と思ったことをテーマとするコツを学びました。



## 水 希少生物観察会 辺や草原の生物を探す 7/13

希少生物観察会が川辺の楽校で開催されました。参加者40人は、水質検査をしたり、川に入って魚や水生昆虫を捕まえたり、草原で昆虫採集したりして、水辺の環境と生物を楽しく学びました。川の中で大きなカジカが捕まると、子どもたちの歓声が上がっていました。



おいしいコーヒーの入れ方を学ぶ参加者。

## コ 家でも本格的なコーヒーを 一歩一歩学ぶ 7/5

藤岡公民館でおいしいコーヒーの入れ方教室が開催されました。参加者はコーヒー豆の種類や保存方法などを学んだ後、ドリップコーヒーの入れ方を学びました。参加者からは「今までのやり方が間違っていた」などの声が聞かれ、自分で入れた本格的なコーヒーを味わっていました。



## 洪 台風などの季節を控えて 水期前の動作点検 6/30

下久保ダムイベントが開催されました。臨時バスも運行し、県外から多くの人が訪れました。ゲート動作点検の他、ダムグッズ販売やダムカード配布、特設ステージではダムフェスを開催。下久保発電所見学は人数限定のため整理券待ちの列ができました。













ふじおか  
岡元気  
45

上毛新聞第45回掌編小説年間賞佳作に作品「日を閉じた四月の猫へ」が選ばれ「うれしい」と笑顔で話す高橋さん。

作品は夢を失った少年が、生きる意味を見つめ直す物語。名もない小さく弱い命たちをすくい上げたいという思いで書いたもので、主人公は葛藤する少年時代の自身の姿でもあると語ります。

「掌編小説」は規定が原稿用紙5枚。言葉を厳選し、無駄を削つていって必要があります。その過程は詩や俳句に通じるものがあるか

もしれないと感じています。高橋さんは中学2年で母を亡くしました。また、営業、事務、製造、飲食店経営などの職種を経験してきたおり、その時々にはどうにもならなかつたまままな悲しみや苦しみが、文章の表現に生かせているかもしれませんと話します。

現在は、そんな経験を生かしつつ、コミュニケーションの講師として転職者などに、コーチングやアサーション技術を伝える仕事に携わっています。今後の小説については「楽しみにしてください」と

にこやかに話してくれました。

## 命の意味を問う作品

**上**

毛新聞第45回掌編小説年間賞佳作に作品「日を閉じた四月の猫へ」が選ばれ「うれしい」と笑顔で話す高橋さん。



上毛新聞第45回掌編小説年間賞佳作受賞

**高橋 祐紀さん(上戸塚)**

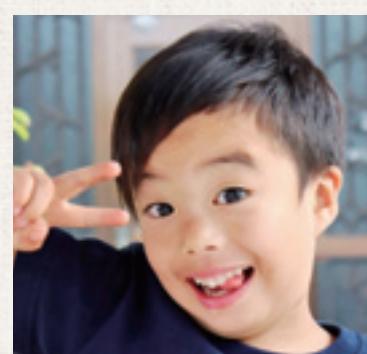
**Profile**

1967年藤岡市生まれ。2018年の上毛文芸欄に掲載された掌編小説で入選した24編の中から第45回年間賞の佳作を受賞。ペンネームは結城高葉。



のぐち  
**野口 あいりちゃん**  
(4歳・中島)

いつも笑顔で優しくてよく気の利くあいりちゃん。我が家の大太陽です！



しもやま  
**下山 陽真くん**  
(4歳・藤岡)

いつも元気なはるまくん すくすく大きくなつてね



はやし  
**林 大貴くん**  
(1歳2ヶ月・立石)

大ちゃんの成長が楽しみだよ。だいすき。

**かびっこ市民登場**

479



ちびっこ応募

## あなたの家のちびっこを広報で紹介しませんか？

- 対象 市内在住の4歳未満(受付時点)で過去に掲載のない子ども
- 応募方法 任意の用紙に保護者の氏名・住所・電話番号・子どもの名前・性別・生年月日・子どもへのメッセージ(32字以内)を明記し、子どもの写真1枚を郵送・メール・持参のいずれかの方法
- 応募先 秘書課広報広聴係(☎④2208・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jp)

古紙配合率70%再生紙を使用しています。P70